

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	10-5																																					
PDCA	主要事業名	消防団装備の充実・強化事業	部課名	総務部防災安全課	担当 内線	横井 286																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 4 単位施策： 消防・救急 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 1,054 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.02.02.51 3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円																																											
	事業概要等	事業概要： 消防団員が災害時に、安全かつ迅速な消防活動を行うために装備の充実、強化を図る。																																										
		事業目的： 消防団員が災害時に、安全かつ迅速な消防活動を行うために装備品の計画的な更新と強化を図る。																																										
		事業内容： 拡声器36台、耐切創性手袋72着、防塵メガネ72着を新たに配備する。																																										
		問題点・課題等： 東日本大震災において、多数の消防団員が犠牲となったことを踏まえ、団員等の安全確保のために装備品の充実、強化を図る必要がある。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	1,054 千円	消防団員の安全確保や、消防力強化のために装備の充実強化は必須であり、消防体制の強化を図るため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 703 千円	消防団活動における団員の安全の確保、組織力の強化、救助能力の向上を図る。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"> 装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加 </td> <td>実績値</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加	実績値	2	1	—	回	目標値	—	3	3	回		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加	実績値	2	1	—	回																																							
	目標値	—	3	3	回																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
351 千円																																												
0 千円																																												
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																										
	884 千円	基本消火訓練、実践訓練で防火衣を活用し訓練を実施。拡声器、耐切創手袋、防塵メガネについては、各分団代表者に向けて講習を実施。 訓練による使用演習や、講習による保守管理指導により、配備した機材を実践的かつ効果的に、適切に扱えるよう体制強化を進められた。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"> 装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加 </td> <td>実績値</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	令和3年度	単位	装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加	実績値	3 回	目標値	3 回																														
	成果指標	令和3年度	単位																																									
	装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加	実績値	3 回																																									
		目標値	3 回																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 訓練、演習を通じて、装備品の適切な使用方法や活用方法を団員が体感習得することが出来た。講習を実施することで、装備品の保守管理方法について具体的に団員に示すことが出来た。感染症を考慮して代表団員への講習の実施であったため、団員間での共有を進め、組織全体としての強化を進めていく。																																										
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 近年の様々な災害から、消防団に求められる役割は拡大しており、火災消火のみではなく、救助救難や、通信確保、現場指揮等様々な技能が求められるようになってきている。団員の安全を確保した上で、様々な要求に対応できる資機材を計画的に配備し、併せて扱う団員の技能向上を図り、災害に強い消防団組織の強化を進める。																																										
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ない																																								
		②市民ニーズ 低い	⑤成果向上の余地 ある																																									
		③休廃止の影響 小さい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —																																								

目標項目（予算計上時に作成）
 予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
 主要施策の成果報告書で活用